

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

7月号

No.3
平成17年
7月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社

Aゾーン優勝 伊方小学校



Bゾーン優勝 塩成小学校



6月9日(木)、伊方スポーツセンターにおいて、西宇和郡小学校バスケットボール大会が開催され、A・B2つのゾーンに分かれ熱戦が繰り広げられました。Aゾーン(男子を含まないチーム構成)では伊方小学校が、Bゾーン(男子を含んだチーム構成)では塩成小学校が見事、優勝しました。

今月の主な紙面

- 町スポレク祭 2005 伊方会場
- 13里見て歩きボランティアの募集
- 社会教育委員の募集 いかた学童クラブの募集
- 学校通信
- 人権学習シリーズ
- 子ども放送局
- 佐田岬民俗ノート 町見郷土館から
- 広報 文芸

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

7月のテーマ

“楽しい夏をむかえよう”

(実践方法)

- 夏休みの生活設計について話し合おう。
- 地域の行事や少年団体の活動に親子そろって参加しよう。

盛大にスポレク祭2005

伊方会場900人が集う

平成17年6月12日(日)伊方中学校グラウンドを主会場に伊方町スポレク祭2005伊方会場が、2年ぶりに開催されました。

当スポレク祭は、合併に伴う協議のため例年より開催時期が1ヶ月遅れ、梅雨入り日の翌日が開催日となったため開催が危ぶまれましたが、雨の心配も無く

合併後最初に実施される社会体育事業として盛大に行われました。

今年度は、合併したことに伴い旧町で実施していた同じような大会を「伊方町スポレク祭2005」と統一し、実施時期・競技種目は異なりますが伊方・瀬戸・三崎会場として開催されます。

尚、競技種目は、ベタンク・レクバレー・ソフトボール・ゲートボールの4種目で地区対抗で行われ小学生から高齢者まで約900名の選手・役員が集い、ひとつひとつのプレーに歓声を上げ、スポーツで楽しい1日を過ごしました。

主な試合結果は、次のとおりです。



▲ 熱戦のレクバレー



▲ 開会式



▲ ポーズもバッチリ！



▲ 選手宣誓(左から上野栄喜さん、市尾隆志さん、川上祐太郎さん)

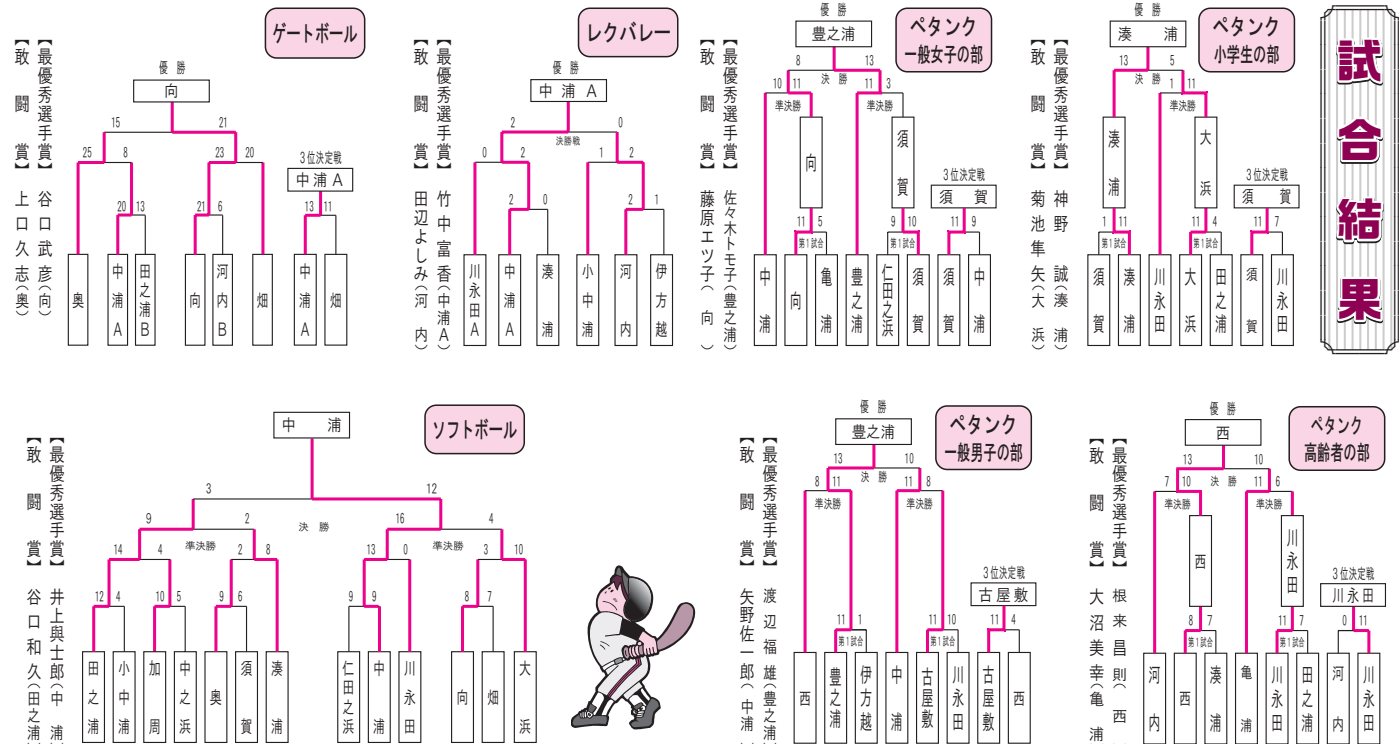


▲ 第1ゲート通るかな？



▲ ナイスバッティング

試合結果



海からふるさとを眺めてみませんか！

ヨット体験参加者募集！

- *期 日：7月24日(日曜日)9:00～
- *場 所：伊方港旧棧橋
- *対 象：伊方町在住者(子ども・大人)
天候により変更する場合があります
- *申込〆切：7月19日(火曜日)
- *主 催：伊方海洋少年団
- *申 込 先：伊方町中央公民館 岩西 啓二
(38-1020)



塾生募集

伊方町生活文化女性塾

地域における男女共同参画社会づくりを進めるため、地域に密着した学習及び調査研究を行う生活文化女性塾を開催することにより、人材の育成を図っています。

事業内容は毎年塾長を中心に、みんなテーマを決めて活動しています。皆さんの参加を塾生一同お待ちしております。

16年度の主な事業

- ・リサイクル・ソーイング
- ・史跡見学会

- ・伊方町議会の傍聴
- ・男女共同参画社会づくりに関する諸会に出席

対象者

町内在住の成人女性

申込締切日

平成17年 7月15日(金)

申込・問合先

生涯学習課 電話 38-0211



★伊方町婦人会発足★

5月28日(土)中央公民館において、伊方町婦人会の設立総会が開催されました。

今回の三町合併により、婦人会組織のあり方も見直す必要が生じ、役員始め、会員、OBを含め、協議を重ねました。

その結果、新たに「伊方町婦人会」を設立し、瀬戸支部を加えた新体制でスタートすることになりました。

今後、各地区からの新規・再加入について、勧誘していくことで合意しました。

「人づくり、地域づくり」について、婦人会の果たす役割は大きいと思われます。地域の女性リーダーとしての活躍を期待しております。



“ママさん学級”を開催

—三崎公民館—

5月24日(火)、三崎保育所のホールで「ママさん学級」を開催しました。

この学級は、若妻の母親としての知識と自覚を身につけるための学習と併せて地域の仲間づくりを目的に三崎公民館が開催したものです。

第1回目の今回は、15名の学級生と子どもたちが参加して、絵本の読み聞かせ等を行いました。

講師には、元フリーアナウンサーの二宮美奈先生をお招きしました。



きし、紙芝居や歌や踊りで楽しい時間を過ごしました。次回は「ビデオ鑑賞」を予定しています。

ボランティアスタッフ大募集

佐田岬十三里見て歩き



新「伊方町」の4地区公民館(中央・町見・瀬戸・三崎)では、子どもたちの豊かな自然体験活動と健全育成活動の一環として、町内の仲間と交流しながら佐田岬半島を歩いて巡る「佐田岬十三里見て歩き」を計画しています。

そこで、子どもたちと共に参加してくれるボランティアスタッフを募集しています。あなたの若い力や、熟練した英知を、子どもたちのために役立ててみませんか。

連絡お待ちしております。

- ◇ 主 催 伊方町中央・町見・瀬戸・三崎公民館
- ◇ 日 時 平成17年7月26日(火)～27日(水) (1泊2日)
(雨天の場合は、8/2・3)
- ◇ 場 所 伊方武道館(出発)～(佐田岬灯台経由)～三崎公民館
- ◇ 参加児童・生徒 伊方町内の小学4年生～中学3年生、40名程度
- ◇ 2日間の行程

問 合 せ 先

伊方町中央公民館 38-1020
伊方町町見公民館 39-0212
伊方町瀬戸公民館 57-2111
伊方町三崎公民館 54-1114

	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7月26日(火)	集合時間 9時 伊方武道館			出発式	ウォーク (武道館) ～ (町民グラウンド)	バス移動	昼食	ウォーク (農業公園) ～ 風の丘パーク	風の丘パーク ～ アグリトピア			夕食準備	夕食	交流会			就寝
7月27日(水)	起床	朝食	バス移動	ウォーク (佐田岬灯台) ～ (串分館)		バス移動	昼食	ウォーク (伽藍山) ～ (三崎公民館)	解散式	送迎バスで各地区へ 							

※ 年齢・性別は問いません。興味と関心のある方を求めています。



六月八日(水)瀬戸町民センターにおいて第一回生け花教室が、講師、兵頭真紀夫先生の指導のもと、開催されました。この日の教室では、「イボタ、リヤトリス、クジャク草」を使い、真・副・体の基本的な生け方を学習しました。参加された皆さんの中には生け花を習った方も多く、手際よく生けることができたようです。また、きちんと生けることにより花の美しさが一段と増すように感じられました。今後、徐々に難易度の高い生け方を学習していく予定です。

公民館講座「生け花教室」開催

瀬戸公民館



☆生け花教室
毎月第二水曜日十九時～
受講料 一、〇〇〇円
(材料費含む)
☆アレンジメント教室
毎月第四火曜日 十九時～
受講料 二、〇〇〇円
(材料費含む)

また、瀬戸公民館では、同じく兵頭先生指導によりアレンジメント教室(生花使用)も開催しています。今後の予定は、「プリザーブドアレンジ(人気の長期間楽しめる花)」「コケ玉風アレンジ」等です。暮らしの中に花があることで生活に潤いが出てくるような気がします。生け花、アレンジメントともに初心者でも気軽に参加できる内容となっております。興味のある方はご連絡ください。
(瀬戸地域教育課四五七―二二二)

伊 方 町 社 会 教 育 委 員 の 募 集

伊方町教育委員会では、町民のご意見を各種社会教育施策に反映させるため、伊方町社会教育委員を1名募集します。

応募されます方は、次の事項に留意し教育委員会本庁生涯学習課・瀬戸・三崎地域教育課に備え付けの「社会教育委員応募申込書」により、お申し込み下さい。多くのご応募をお待ちしています。

【問い合わせ先】

伊方町教育委員会 本庁 生涯学習課 ☎ 38 - 0211 (代)

募 集 人 員	募 集 期 間	委 員 会 の 概 要 委 員 の 役 割	応 募 資 格
1 名	7月1日(金) ～ 7月15日(金)	町の社会教育に関する意見・ 提言等 任 期：委嘱日から2年間 開催回数：3回程度	〔応募資格〕 20歳以上の町内在住者 (議員・公務員を除く)

(注) 応募の結果は、応募された方に報告します。

い か た 学 童 ク ラ ブ の 参 加 者 募 集

教育委員会では、留守家庭対策として保護者が家庭にいない児童を対象に、放課後一定の時間、児遊館(児童クラブ室・子ども図書室)であずかり、仲間づくりを通して児童の健全育成を図ることを目的に、いかた学童クラブを実施します。

参加希望者は、下記の要領で募集しますので、7月15日(金)までに、生涯学習課までご連絡下さい。追って申込書を送付いたします。

○実施期間及び時間

平成17年8月2日(火)～平成18年3月24日(金)

- ・毎週 火曜日～金曜日 下校時～午後6時まで
- ・土、日、夏休み 午後1時～午後6時まで

※祝、祭日、月曜日、年末年始、その他教育委員会が必要と認めた日は休み

○実施場所

伊方町湊浦 伊方町生涯学習センター3階
児遊館(児童クラブ室・こども図書室)

○対 象 者

町内小学校に在籍する児童(1～3年生)で、授業終了後から午後6時まで保護者が就労等により家庭にいない児童

定員は20名程度とします。(希望者多数の場合は選考させていただきます。)

○留意事項

- ・児童の送迎は各家庭で対応してください。
- ・申込みされる方は、スポーツ安全保険への加入が必要です。(学童クラブ中の事故・行き帰り中の事故に対応した保険 年額500円)

※詳細は、伊方町役場生涯学習課(TEL 38 - 0211 内線170・179)までお問い合わせください。





二名津小学校

- 住 所 伊方町二名津365番地
- 電話番号 54-0635
- 児童数 36名 学級数 6 教職員数 10名
- 校 訓 強く 正しく 明るく



(学校PR)

明治10年に開校した伝統ある学校であり、佐田岬半島では瀬戸内海側に面した数少ない学校の1つです。三方を緑豊かな森に囲まれ、いつも鳥のさえずりが聞こえ、心安らぐ恵まれた環境のもとにあります。

質実・勤労を尊ぶ土地柄で育っている子どもたちですので、「よく学び」、「よく働き」、「いつも元気」な学校です。一人一人の個性を重視し、思いやりの心を持つとともに、生き生きとたくましく活動できる子どもの育成に努めて参ります。皆様からの御教示と御支援のほど、よろしくお願いします。

役 職	氏 名	備 考	役 職	氏 名	備 考
校 長	山 内 徹	正野小より	教 諭	松 本 由 里	
教 頭	山 本 由 紀 雄		〃	清 水 美 智 子	三崎小より
教 諭	柳 希 彦		養護教諭	山 下 若 美	
〃	古 田 耕 治	串小より	専門員	富 永 治 美	
〃	眞 柴 寿 子	八幡浜市立喜須来小より	用務員	山 下 千 秋	

三崎小学校

- 住 所 伊方町三崎907
- 電話番号 54-0030
- 児童数 103名 学級数 8 教職員数 16名
- 校 訓 やさしく 正しく たくましく



(学校PR)

本校では、活動スローガン「元気な声 流れる汗 輝く瞳」の下、明るいあいさつ・元気な返事・進んで行う奉仕作業・学ぶよろこびあふれる学校づくりを目指しています。一昨年度までの「豊かな体験活動」、昨年度の「食農教育」の継続と、ふるさとのよさを生かした教育活動を展開しています。土地を耕し・地域を耕し・心を耕す教育に児童・教職員・保護者とともに取り組んでいます。和冠の基地としてのたくましさと進取性・ダイダイの導入から柑橘栽培への勤勉性の伝統を受け継いでいる学校です。

役 職	氏 名	備 考	役 職	氏 名	備 考
校 長	五 藤 修 一		教 諭	大 岩 文 子	
教 頭	井 上 康	正野小より	〃	安 部 有 希	三崎中より
教 諭	阿 部 知 佳 子		〃	河 野 恵 子	西予市立中川小より
〃	木 戸 み ど り		〃	佐 々 木 一 光	国内留学(鳴門教大)
〃	田 中 宏		〃	中 島 慎 二 郎	
〃	末 光 礼 子		養 教	浅 野 恵	
〃	眞 矢 覚	八幡浜市立川之石小より	事務係長	窪 田 明 弘	伊予市立伊予中より
〃	井 上 久 美 子		用務員	横 山 多 加 子	正野小より

佐田岬小学校

- ・住 所 伊方町串110番地
- ・電話番号 56-0151
- ・児童数 37名 学級数 5 教職員数 9名
- ・校 訓 やさしく ただしく たくましく



(学校PR)

串中学校の耕地、校舎を継承し、平成17年4月に開校しました。
児童数の上に、フナムシがたくさん登校していてにぎやかです。
串・正野小学校の教育気質の継承と校風の樹立に地域と一体になり教育の伸展を図っています。

役 職	氏 名	備 考	役 職	氏 名	備 考
校 長	道 岡 喜 好	串小より	教 諭	藤 原 か よ	大久小より
教 頭	中 田 和 喜	三崎小より	養 教	船 山 恵 美 子	串小より
教 諭	杉 山 幸 子	正野小より	主 事	都 築 誠	串小より
〃	泉 裕 重	正野小より	用 務 員	濱 奥 千 代 美	串小より
〃	中 井 和	串小より			

伊方中学校

- ・住 所 伊方町湊浦803番地1
- ・電話番号 38-0711
- ・生徒数 176名 学級数 6 教職員数 23名
- ・校 訓 健康 信愛 創造

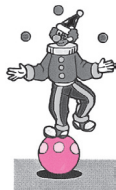


(学校PR)

本校は平成10年度に統合し、今年で8年目を迎える。統合により新しくできた校訓「健康・信愛・創造」は、両校の校訓を一つずつ取り入れるとともに、新しいものを求める豊かな創造性を育成することをめざしている。生徒は素直で明るく、伸び伸びと学校生活を送っており、本校教育目標「自ら学び、主体的に活動する心豊かな生徒の育成」のもと、「豊かな学力を育む学校づくり」を目指している。特に今年度は平成17年度「確かな学力定着向上調査研究事業指定校」として、自ら学び自ら考える力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めているところである。

役 職	氏 名	備 考	役 職	氏 名	備 考
校 長	清 重 春 夫		教 諭	矢 畑 祐 子	
教 頭	勇 功		養 教	浮 田 千 賀 子	
教 諭	佐々木 登志子		事 係 長	國 廣 圭 吾	
〃	大 塚 眞 理 子		講 師	角 藤 友 美	西予市立野村小より
〃	鎌 田 宏 和		教 活 指	山 口 英 子	
〃	有 馬 太 郎	西予市立三瓶中より	〃	布 井 千 晶	新規採用
〃	竹 上 広 子		〃	加 洲 憲 作	新規採用
〃	平 家 良 則		〃	岡 田 亜 希 子	新規採用
〃	小 川 英 志		S C	谷 川 美 紀 子	
〃	松 前 良 子	八幡浜市立青石中より	A L T	アンジェラ・トラリアノス	
〃	森 分 洋 樹		用 務 員	浪 下 美 音	
〃	兵 頭 し づ か	育児休業中			

伊方スポーツセンターだより



7月 開講スクール



バランスボール

●時 間 ①10:30～11:30
②13:30～14:30
③19:30～20:30

●対象者 一般成人男女
●定 員 10名
●受講料 500円/回

水中ウォーキング

●時 間 ①10:30～11:30
②13:30～14:30
③19:30～20:30

●対象者 一般成人男女
●定 員 10名
●受講料 500円/回

トレーニング教室の2期生を募集いたします。

- 期 間 7月～8月 ※1期は2ヶ月です。
- 時 間 ①18:30～20:00 ②20:00～21:30
(希望の時間帯にお越し下さい)
- 対 象 者 一般成人男女
- 会 場 トレーニングルーム
- 定 員 20名
- 受 講 料 3,200円/2ヶ月(8回分)
- 持 ち 物 運動のできる服装・屋内シューズ
- 申込方法 スポーツ2階事務所に受け付けております。なお、定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。



- 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。
- 伊方町役場(生涯学習課) ☎ 38-2661
- 伊方スポーツセンター ☎ 38-1100
- ☎ 38-0776



新生児土俵入り 希望者の募集

7月31日(日)に開催される、きなはいや伊方まつり2005子ども相撲教室で、二所ノ関部屋力士による新生児の土俵入りをを行います。

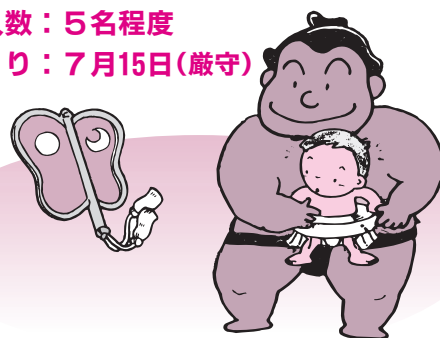
これは、強い力士にあやかって、健康で強くたくましい子どもに育つようにという願いをこめて行われるものです。

希望されます方は、新生児の住所・氏名・生年月日・保護者の氏名・続柄・連絡先を伊方町教育委員会生涯学習課(38-2661)まで連絡してください。

尚、時間の都合上、申込者多数の場合は抽選により決定します。又、当日の申込みは受付できませんのでご了承ください。

● 募集人数：5名程度

● 締 切 り：7月15日(厳守)



◆ 7月は青少年の非行問題に取り組む

全国強調月間です◆

注意! 夏休みの開放感

学校が夏休みになる7月～8月は、その開放感から子どもたちが非行に走ったり犯罪被害に遭ったりする機会が増える時期です。

内閣府では、毎年7月を「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」と定め、非行防止や有害環境浄化に関する国民意識の高まりを目指しています。

この強調月間を機会に「非行を防ぐ」を考えてみましょう。



こんなサインに注意!

- 家族との対話を避ける
- すぐウソをつく
- 生活が不規則になる
- 感情の起伏が激しい
- 表情に活気がない
- あきらめや悲観的な言葉が増える
- うらみやおどしの言葉が増える
- 自分より弱い人や動物をいじめる



郷土館サポ一タ一 佐田岬みつけ隊参加者募集!

郷土館の活動を通して、佐田岬の歴史や民俗と一緒に楽しく学ぶ仲間を募集しています。会員対象の見学会・講演会もあり！独自の調査研究などもいっしょに行ないます。ご要望にもお応えします。初心者の方大歓迎！さあみんなで半島の魅力を見つけに行きましょう！

◆ 今月のきょうどかん ◆

2005年 7月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■＝おやすみ ■＝企画展
休館日は都合により、変更する場合があります。

TEL・FAX 39 - 0241(不在の場合38 - 2661生涯学習課)／開館時間9:30～16:30／休館月ほか

新町発足記念企画展

はな
この岬のかたち
— 写真にみる佐田岬半島 —

7月23日(土)~8月28日(日)

■町見郷土館1階企画展示室

■入場料:大人100円・小中学生50円(通常入館料)

旧三町の所有する航空写真や古写真から、ひとつになった佐田岬半島の魅力を探りましょう。

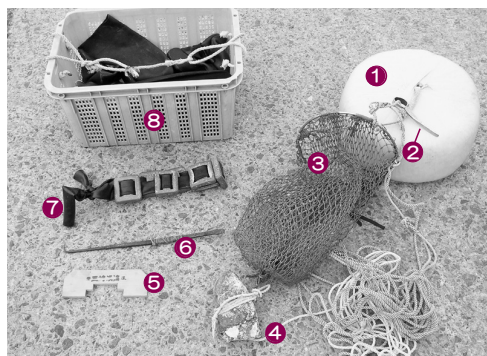
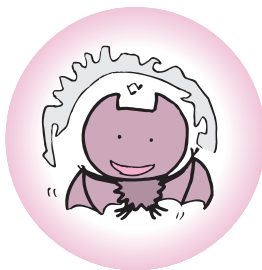
展覧会の一部があなたの地区に！

町内巡回展(入場無料)

■三崎総合支所1階ロビー ■瀬戸町民センター1階ロビー

7月5日(火)～8日(金) 7月12日(火)～15日(金)

※いずれも初日12:00開展 最終日は15:00閉展



アマの道具（2005年6月撮影）

①アマダル ②マトコガネ ③テゴ ④石の重石

⑤スンザシ ⑥イソガネ(カキダシ) ⑦ベルト(ウェットスーツの上からつける) ⑧カゴ

また、ずっと昔は
 禪をじだけで潜りました
 が、明治期に木杵（後）
 に銅製にガラスを付
 けて片目ずつ覆うリヨ
 ウガン（両眼）、大正
 期には両目を覆うイッ
 チョウメガネが使わ
 れ、水中での視界は
 格段に良くなりました
 た。イッチョウメガ

海藻を採るアマ。各地区の漁協にうかがったところ、現在町内には三崎地区を中心に約一〇〇名程のアマさんたちがおられるようです。男性の「海士^{あま}」が有名ですが、じつは女性の「海女^{あま}」も僅かながらいらっしやいます。

海に潜ることはスムといいますが、アマの漁法には、フンドズミ(クリアゲ)とタルズ

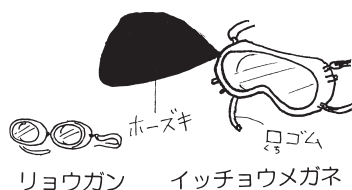
ミがあります。前者は船の上にいるカジコと二人一組で、重いフンド(分銅)を手に深い所まで一気に潜り、命綱で海上へ繰り上げてもらう漁法で、ベテランの「大海士」によって行われましたが、近年はほとんど行なわれていません。後者は、浮子となる樽(アマダル。串ではヒョウタン。地区の樽屋^{たり}で作った。現在は発泡スチロール)を浮かせて一人で潜る現在も主流の漁法で、樽の下には採った貝を入れる網(テゴ。おもし正野ではホボロ)と石の重石を結んだ長い紐が付いています。

ネは個々人にあわせて地区のメガネヤと呼ばれる家で銅製の杵（後に真鍮や洋銀）を作つてもらつたそうで、水圧の圧迫防止にホーズキという鹿皮の袋や、口から息を吹き込むクチゴムというゴム管がついていました。そして戦後、現在の水中メガネやウェットスーツへと変わったのです。

漁の前には傷薬として必ずヨモギを摘んだそうですが、水中メガネが汚れて曇つた時も、ヨモギで拭くときれいになつたそうです。ヨモギが無ければ刻み煙草の葉を湿らせて拭いたともいいます。

さまざまな技術と道具を駆使して連綿と続いてきたアマ漁は、まさに佐田岬半島が誇るべき文化のひとつなのです。

阿部元雄さん
他



リョウガン

イッチョウメガネ

町見郷土館から

佐田岬民俗ノート

アマのメガネ

体ひとつで海に潜って貝や藻を採るアマ。各地区の漁

ミがあります。前者は船の上にいるカジコと二人一組で、重いフンド(分銅)を手に深い所まで一気に潜り、命綱で海上へ繰り上げてもらう漁法で、

ネは個々人にあわせて地区のメガネヤと呼ばれる家で銅製の枠（後に真鍮や洋銀）を作つてもらつたそうで、水圧の圧迫防止にホーズキという鹿皮の袋や、口から息を吹き込むクチゴムというゴム管がついていました。そして戦後、現在の水の中メガネやウェットスーツへと変わったのです。

漁の前には傷薬として必ず



人権学習シリーズ 187

子どもの人権課題 ～いじめ～

○ いじめ

いじめは昔からあった、いじめは子どものけんかに過ぎない、いじめられる側にも問題があるといった認識が現在のいじめ問題を見誤らせてきたことが指摘されています。

いじめとは「自分より弱いものに対して一方的に身体的、心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているもの」(文部科学省)と定義されています。

その特徴は、①悪質で長期間続く。②一人を対象として、多人数(または少数)のものがいじめに加わる。③何もしていない子どもが対象になる。誰もが対象となりうる。立場は流動的である。というように捉えることができます。

学校・地域・家庭では、いじめはだれにでも、どこでも起きる、起きているかもしれないという危機感をもって常に子どもの言動や生活態度を見守っていく必要があります、また「弱いものをいじめることは人間として絶対に許されない」との強い認識に立つこと、どのような社会にあっても、いじめは許されない。いじめる側が悪いという明快な一事を毅然とした態度で行き渡らせる。いじめは子どもの成長にとって必要な場合もあるという考え方は認

められない。また、いじめをはやしたてたり、傍観したりする行為もいじめる行為と同様に許されない。」(文部科学省)という基本認識を、子どもに徹底させ、保護者にも啓発していくことが重要になってきます。

— 愛媛県教育委員会発行(平成17年3月)

人権・同和教育資料より一

少子高齢化や高度情報化などによる社会環境の変化は子どもに様々な影響を与えています。特に、日常生活における体験や人との関わり合いなどの不足が、子どもの社会性や思いやりの心を育ちにくくしていると言われます。同時に、受験等によるストレスや情報の氾濫などの社会風潮も子どもの健全な発達を阻害しています。

他人に対する思いやりや命の大切さは、大人が身をもって子どもに教えるものであり、こうした問題を解決するためには、まず、大人自身から意識改革する必要があります。

大人としてできること、先ずは、自らの人権意識を高め、子どもたちが安心して過ごせる人権尊重の環境づくりに努めることではないでしょうか。

	2日 生放送・VTR放送☆	9日 生放送☆	16日 VTR放送☆	23日 生放送☆
11:00	Let's open the door! ⑨	Let's open the door! ⑩	Let's open the door! ⑪	Let's open the door! ⑫
11:05	子ども放送局 ニュース にじいろ玉手箱	ゆめ 夢スタジオ 夢のはじまりは 憧れから	子どもとしゃかん テーマ: どうぶつ	チャレンジ教室 手芸 草あそび 花あそび ～動物や昆虫に 大変身!～
11:15	「おしえてニュース」 「なんでも やってみよう」 まるごと酪農体験 ～牛が教えてくれる こと～	てつわん 鉄腕アトムのような ロボットを作りたい!! 自然な動きで親しみや すいロボットを作る高 橋さんは、その大きな 夢に少しずつ近づいて いるよ。	わくわく どくしよランド おらっちの民話 ～新潟県・佐渡民話の会～	身近にある草や花、 葉っぱを使って動物や 昆虫を作るよ。 ちよつと見方をかえ て組み合わせてみると …いろんな生き物にみ えてくるよ!
11:30	「子ども特派員報告」 「受信会場だより」 など。			講師 宇川 育さん
11:45	全国の体験活動情報 がぎっしり。		THE MAKING 蚊取り線香ができる まで	(12:00)
	さいほうそう 再放送	さいほうそう 再放送	さいほうそう 再放送	さいほうそう 再放送
	2日 13:30～ 6日 15:30～	9日 13:30～ 13日 15:30～	16日 13:30～ 20日 15:30～	23日 13:30～ 27日 15:30～

みんな来て! 見て! 参加してね!

中央公民館では、毎週土曜日の午前中、一階ロビーにおいて、子ども放送局を放映しています。楽しい番組が盛りだくさん。皆さんの参加をお待ちしています。

■ところ 中央公民館一Fロビー

子ども放送局

報 文 芸

俳 句

伊方俳句会

海に向く浦軒並みに燕の巢

木戸悦子

湯の宿に客もてなせる若葉風

篠川勝子

草揺らしゆつくり黒き蛇よ

池田君子

せせらぎの水逆らはず流し麵

上田益男

初燕くるり向き変う信号機

広瀬秀晴

蛇苺真赤に熟る藪の中

二宮寿賀子

十薬が独居の家をとりかこむ

菊池ましえ

丸之内ビルの窓より春の富士

林 まさ

麦秋の道後平家を夕陽染め

篠川晴子

荷揚げに浜昼顔の群れ咲ける

松坂正子

白小袖なり神官の更衣

門田千枝

忍冬と海の香清し散歩道

山崎美喜

窓開けば潮の匂ひ卵浪立つ

井上良枝

信号待つ和らき風枇杷熟る

上田サチエ

早乙女になりて園児の泥に

渡辺日出子

母の日の玄関狭し胡蝶蘭

宇都宮睦子

屋形舟鵜飼真近し川静か

飛田松子

豆飯の夕餉の卓に夫婦箸

梶谷芳久

北斗の会

山藤の風に揺れてる雑木山

しゃぼん玉風と戯れ空に消え

井上奈津子

瀬戸と宇和橋で繋ぎて卵浪

立つ

水田の消えて幾年遠蛙

佐々木順子

木立より五月の風や露天の湯

揚雲雀真青な空に飛行雲

賑やかに草刈の村総出かな

新築の祝い太鼓や風五月

水野千代美

ロータリー埋め尽くしてつつ

じ燃ゆ

我が生家壊す日となり青嵐

藤村富士子

瀬戸紅日句会

少女等の装いに夏の来たり

中村愛坊

鈴虫を宅配便で子に送る

二宮清美

海女の樽浮かんで瀬戸の海

青し

百日紅俄に芽吹き賑わへり

安田増子

野茨の白を極めて藪に散る

長谷美久仁

庭中に玉葱干して立話

木村香代子

花みかん零るるを浴び草を

引く

オープンカー薫風切つて疾

走す

竹林の木洩日揺れる初夏の風

和泉裕子

富士見ゆる窓開け初夏の風入

れる

菊岡三代子

あみだ句会

山の色日毎に変わり夏に入る

松本ツタ子

東風吹きて乾くひじきや荒磯

の香

新町名念入りに書く五月かな

阿部ヨシ子

行く春やいとしき姪は永眠す

菊池タツエ

チューリップ今年はどうと娘

の電話

久々に子等と再会みどりの宴

池上松子

青嵐にわが昂ぶりをあづけ

山本敬子

青葉濃し野いちごの花真つ

白し

早すぎる友のとむらひ柿若葉

塩崎信子

天望台眺める瀬戸も初夏の山

池井為吉

老いの歩々蜜柑の花の香に

墓参

短 歌

かたばみ短歌会

身ごもりし野良猫庭の陽溜りに腹横たへて動かずにある

梶谷千代子

葉大根ピーマン青紫蘇ミニト

マト植えて楽しむミニの菜園

菊池朱見子

又台風風はうなりて木々揺る

る雨戸を閉めて祈る一とき

是沢美那恵

法王と最後の別れに世界が動く

サンピエトロ聖堂四百万人

武田美生子

風光る立夏の陽ざしあまねく

て端午の節句鯉幟り泳ぐ

梶田ミヨ子

街路樹のハナミズキの花咲き

満ちて白あり赤あり眺めつつ

行く

耳削ぎしゴッホの悲哀身にし

みて真昼間けぶる藤の下行く

宇都宮すみ

点滴の滴に映る新緑を一つぶ

一つぶ体に入れる

松坂正子